

土

木

という言葉について

「^{どぼく}土木^い」^{なに}と^いえば、何をイメージしますか？
やはり、^{こうじげんば}工事現場、^{どろ}泥^{つち}や土、そして、^{かんきょうはかい}環境破壊…でしょうか？

^{たし}確かに、そういう^{そくめん}側面があることは、^{じじつ}事実かもしれません。
しかし、それは、^{どぼく}土木^いのごく^{いちぶ}一部なのかもしれません。

ここでは、そのことについて、^{すこ}少し^{かんが}考えてみたいと思います。



^{みち}道がない^{せいかつ}生活…？

もし、「道」がなかったら、
わたしたちの暮らしは、どうなるのでしょうか？



^{みどり}緑のない^{まち}街…？

もし、「^{みどり}緑」がなかったら、
わたしたちの^く暮らしは、どうなるのでしょうか？



水害の多いまち…？

もし、「川」に手を加えなければ、
どれくらい、「水害」が起きてしまうのでしょうか？



ひょっとすると、わたしたちは、

^{みち}道^{みどり}や^{みどり}緑がなかったら、
^{すいがい}水害^{おお}が多かったら.....

^{ふつう}普通^くの暮らしが、
^{でき}出来なくなるのかもしれません。



とするなら……

普通の暮らしのためには、

どこかで、誰かが、

道や緑や川の事を考えていくことが必要なのかもしれない。

それを考えていくのが、

土木の仕事です。

土木は、
英語で Civil Engineering といいます。

ここにCivilとは「市民」「文明」という意味です。

つまり、土木（Civil Engineering）とは、

「市民のための工学」

あるいは

「市民の文明的な暮らしのために、
人間らしい環境を整えていく仕事」

を意味する言葉なのです。



JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内

TEL:03-3355-3441 FAX:03-5379-0125

E-mail:inf@jsce.or.jp

<http://www.jsce.or.jp>